



### 3 保健・医療・福祉の連携による藤沢の地域包括ケア

⑥地域包括ケアの拠点「国保藤沢町民病院」。医師7人体制で住民の健康と暮らしと命を守る／⑦交通の便に恵まれない中山間地の住民ニーズに応えるメニューの一つが「出前医療」と呼ばれる医師の訪問診療。医師と看護師が町内外の在宅医療を支えている

# Fujisawa Town



## 私たちの新しい仲間 「藤沢町」を知ろう

9月26日に当市と合併する藤沢町。  
35年以上にわたり自治会を中心とする住民自治を進めてきました。  
私たちの新しい仲間、藤沢町を紹介します。



### 1 全国に誇る夏の風物詩「藤沢野焼祭」

⑧毎年8月に行われる藤沢野焼祭は今年で36回目。大小千点もの作品を、夜を徹して豪快に焼き上げる。会場一面に燃え盛る炎は壮大。写真は右から、作品を焼き上げる縦8尺、横4尺の穴窯／⑨藤沢町文化交流センター前庭に設置されている岡本太郎氏(故人)寄贈のブロンズ像「縄文人」／⑩祭りの創始者藤沢焼窯元本間伸一さんの作品づくり。藤沢焼は地域のブランドでもある

おもてなしの心  
感じるまちづくり

行くとき幸せになれる店があります。心のこもった料理と酒、しつかりとしたサービス。その店で過ごす時間の満足度が高ければ「また行きたい」と思っています。こうして客はリピーターになります。

藤沢町がこれまで進めてきたまちづくりには、そんな心のこもった「おもてなし」がそこかしこに感じとれます。

藤沢町の人口はおよそ9000人。面積は123・15平方キロメートル。町土の約6割が標高200〜480メートルの南部北上山系につながる山林で、町中に美しい農村景観が広がっています。

古くから、自治会を中心とする住民自治を強力に進め、たくさんの方の価値や魅力をつくってきました。中でも町が一つになって創り上げる「藤沢野焼祭」は全国に誇れる夏の風物詩です。第15回(90年)藤沢野焼祭に参加した岡本太郎氏(故人)は「ここには縄文人がたくさん

いる。縄文の原点が藤沢であってほしい」と絶賛。氏の作品ブロンズ像「縄文人」を町に寄贈しました。

藤沢町は、医療・保健・福祉が連携した地域包括ケアに力を入れています。藤沢町役場に隣接する「国保藤沢町民病院」はその拠点。同町はもとより、当市や宮城県北地域の住民の医療も支えています。

93年にオープンした「館ヶ森アーク牧場」は、さまざまな動物と触れ合ったり、四季折々の花々を楽しんだりできる観光拠点です。周辺には観光リング園、ホテルやペンションなどが立地しています。08年には「岩手サファリパーク」もオープン。ライオンやキリンなど約700頭の動物を楽しむことができます。館ヶ森には年間30万人もの観光客が訪れています。

藤沢町は中山間地という地理的ハンデを乗り越えるために、住民と行政が一体となってまちづくりを進めてきました。交流と共生の中に、独創的な価値と文化を創り出しています。

### 4 四季折々に町を彩る可憐な花々

10万本の花咲く町を目指す藤沢町。自治会のコミュニティー花壇に代表される四季折々の花風景もまた、町の財産。写真は右から、春のチューリップ、夏のラベンダー、秋のヒマワリ



### 2 安全・安心を追求する藤沢のうまい食

⑪お取り寄せランキングで全国1位に輝いた「館ヶ森高原豚骨付きロースポーク」／⑫グリーンボーデン館ヶ森の逸品「館ヶ森ポークのグリエ藤沢野菜添え」／⑬料理を楽しむ宿泊客

